

令和 7 年度 海部地方総合防災訓練実施計画

1 目的

愛知県、海部地域 7 市町村、各防災関係機関等の参加協力のもと、水防工法訓練と併せて総合的な防災訓練を実施することにより、大規模災害発生時における迅速かつ的確な応急活動に必要な協力体制の確立や、地域の連携を活かした防災力の強化を図るとともに、防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 日時

令和 7 年 6 月 1 日（日） 午前 8 時 40 分から午前 11 時 30 分まで

3 場所

愛西市立田町福原地先 国営木曾三川公園 東海広場（木曾川右岸河川敷）

※ 会場レイアウトは資料 2 「令和 7 年度訓練会場図」を参照。

4 主催

- ・海部地方防災連絡会議（議長：海部県民事務所長）
- ・海部地区水防事務組合（管理者：あま市長）

5 指揮本部体制

- ・訓練本部長 海部地方防災連絡会議議長（海部県民事務所長）
- ・訓練副本部長 市町村長始め各訓練参加機関の長
- ・訓練部隊長 津島市消防団長
- ・訓練副部隊長 弥富市消防団長、あま市消防団長、海部南部消防組合消防署長
- ・訓練本部付 各消防本部消防長

6 訓練想定

スーパー伊勢湾台風クラスの大型台風及び南海トラフ巨大地震の同時発生

7 主な訓練種目

(1) 一般訓練

① 水害対応訓練

台風・高潮情報提供、河川パトロール、アマチュア無線による非常通信、避難誘導、土のう作り・土のう積み体験、水防工法訓練（改良積み土のう工、月の輪工、釜段工）、内水排除（排水ポンプ車・照明車展示）、たん水防除、舟艇組立

② 地震対応訓練

シェイクアウト訓練、地震情報提供、被害状況偵察、アマチュア無線による非常通信、初期消火（LPガス・油）、応急電話架設、配電線応急復旧、保健医療活動連携訓練、心肺蘇生・災害時に役立つ技術 等

③ 共通の訓練

炊き出し、災害ボランティアセンターの開設・運営、給水訓練、緊急物資の輸送

(2) 特別訓練（大規模災害訓練（瓦礫の下の医療（CSRM）に係る訓練））

海部地域5常備消防署、愛知県警察本部・津島警察署・蟹江警察署、陸上自衛隊、愛知県津島土木研究会及び医療機関等との連携訓練（訓練詳細は海部東部消防組合で計画）

(3) 啓発訓練

各種啓発展示、車両展示、地震体験車・煙体験、災害対策展示

※ 個別の訓練内容は資料3「令和7年度海部地方総合防災訓練実施細目」を、訓練の全体スケジュールは資料4「令和7年度海部地方総合防災訓練進行表」を参照。

8 参加機関【順不同】

愛知県、愛知県警察、海部地域各市町村〔消防団（水防団）、婦人会、赤十字奉仕団、女性の会、女性（婦人）消防クラブ、社会福祉協議会、中学生〕、海部地域5常備消防本部・消防署、陸上自衛隊第35普通科連隊、名古屋市（消防航空隊）、国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所、名古屋地方気象台、日本赤十字社愛知県支部、中部電力パワーグリッド株式会社、西日本電信電話株式会社、一般社団法人愛知県LPガス協会西部支部海部北・南分会、海部地域5危険物安全協会、愛知県海部農業土木研究会、愛知県津島土木研究会、一般社団法人津島市医師会、一般社団法人海部医師会、津島市歯科医師会、海部歯科医師会、津島海部薬剤師会、愛西コミュニティハムクラブ、弥富防災ハムクラブ、愛知県西部防災ボランティアコーディネーターネットワークの会、あいち防災リーダー会海部ブロック、津島市民病院、あま市民病院、愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院、海部南部水道企業団、西尾張シーエーティーヴィ株式会社、あいち海部農業協同組合

9 訓練中止基準

訓練当日の午前6時現在、次の場合は訓練を中止します。

- (1) 尾張西部に大雨警報、暴風警報、洪水警報、高潮警報、大雨特別警報、暴風特別警報、高潮特別警報、波浪特別警報の気象予警報のいずれかが発表された場合
- (2) 木曾川中・下流、長良川下流、庄内川、新川及び日光川氾濫警戒情報が発表された場合
- (3) 「伊勢・三河湾」又は「愛知県外海」における津波警報又は大津波警報が発表された場合
- (4) 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合
- (5) 全県又は県西部に震度5弱以上の地震が発生した場合
- (6) 小規模、相当規模若しくは大規模な災害が発生する恐れがあるとき、又は小規模、相当規模若しくは大規模な災害が発生した場合
- (7) 北朝鮮による弾道ミサイルとみられる飛翔体の発射情報がJアラートにより愛知県に伝達され、かつ県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生するおそれがある場合
- (8) 東海広場が降雨等により使用できない場合